

今、世界で最も稼ぎの多い人、ビル・ゲイツがああアイデアを何時、何処で考え開発、計画するかが週刊日経ビジネスに載っておりましたので、私見も加えて書いてみました。

彼のアイデアの源泉となるのは社内の隅々から集めたレポート凡そ 200 本から 250 本を持って毎年 7 日間ずつ 2 回北米の山中へと姿を消してこのレポートを読み次の戦略を決めていると書かれていました。

その主な課題は「インターネット上のセキュリティ」「地図サービス-地球の過去と未来図-」「ゲーム」「言語」「教育」「業界潮流-業界の最新トレンド-」等が挙げられています。

ビル・ゲイツは山荘での 2 週間、レポートだけで 4 千万字位読む。レポート以外の日常の読書も加えれば膨大な字数となります。

経済には先見性が最も必要でありそれを企画・実行する決断力、勇気もまたきわめて大事な要素であります。

私も本はよく読む方ですが「好き」であるより読まない時代に取り残されてしまう不安が多いかも知れません。

私の本代は毎月 1 万円位ですから単純計算して(新聞・週刊誌は除いて)月に 15 万字位、年間にして 180 万字位ですから、ビル・ゲイツの読書量がいかに多いかが分かります。

「本」は通常それぞれの専門家が調査・研究した結果、責任を持って売るものですから 300 円~1500 円前後で買えれば極めて安い授業料だと私は思っています。

また本は人の感性を育てる役目を持っております。IT の時代には IT と併行して感性を育てないと人間性のバランスが悪くなると私は思っています。